

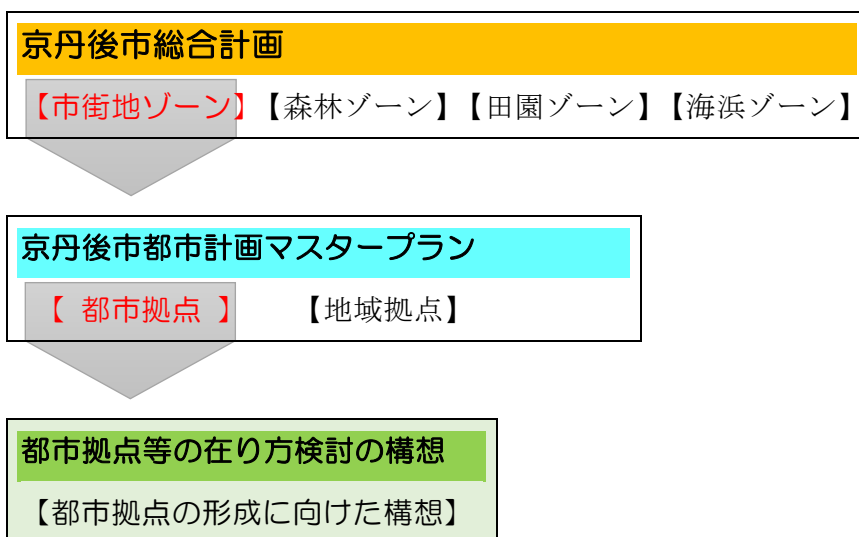
都市拠点等に係る市の課題等及び中間報告とりまとめ内容

1 都市拠点等の在り方を検討する趣旨

- ・京丹後市総合計画（以下「総合計画」という。）の都市機能構想に基づく都市拠点及び地域拠点の形成に向け、SDG s の達成や Society5.0、脱炭素社会の実現等の世界的潮流も踏まえ、市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりのグランドデザイン推進事業として、都市拠点等の在り方について構想を検討するもの。
- ・総合計画では、市内都市機能構想として軸の形成、ゾーンの形成、拠点の形成を掲げており、市街地ゾーンとしての都市空間を創出するため都市拠点への都市機能の集積等について検討が必要であること。
- ・少子高齢化が進行しているなか、とりわけ若者世代に選ばれるまちづくりを進めるため、魅力ある都市拠点の形成とともに市の均衡ある発展に向け多極ネットワーク型のまちづくりを進める必要があること。

2 都市拠点の在り方の構想の位置づけ

総合計画及び都市計画マスタープランにおける都市拠点の形成に向けた構想



(1) 京丹後市総合計画 基本構想

○都市機能構想

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 【軸の形成】 | 【ゾーンの形成】 | 【拠点の形成】 |
| (1)広域連携軸 | (1)市街地ゾーン | (1)都市拠点 |
| (2)地域連携軸 | (2)森林ゾーン | (2)地域拠点 |
| | (3)田園ゾーン | |
| | (4)海浜ゾーン | |

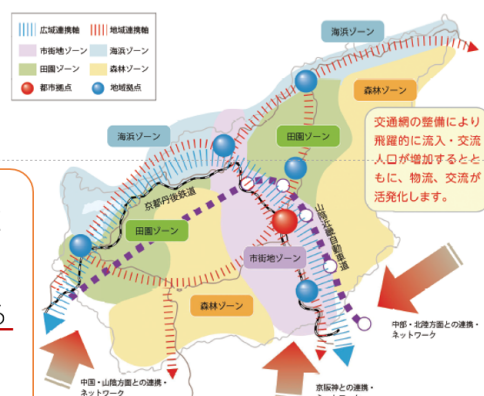
都市拠点

- ・国道312号と482号が交わる市街地周辺を都市拠点と位置付け
- ・駅を起点とした都市基盤整備を推進
- ・商業機能や居住機能だけでなく、多くの人が集まる都市機能を集積

なお

- ・特色ある地域拠点と連携しながら、
- ・市全体の均衡ある発展に向け、活性化します。

■市内都市機能構想図



(2) 京丹後市都市計画マスタープラン

将来都市像

人と経済・文化が交流する
活力あふれる北近畿の拠点都市

目標の実現に向けた4つの視点

1 しごとの基盤づくり

若い世代のしごとや生活への夢が叶えられる「まち」を目指します。

2 交流の基盤づくり

人と人との交流し、笑顔があふれる「まち」を目指します。

3 暮らしの基盤づくり

子育て世代やお年寄りなど、世代を問わずだれもが包摂され、いきいきと快適に暮らせる「まち」を目指します。

4 安全・安心の基盤づくり

だれもが安全で安心して生活できる「まち」を目指します。

都市拠点

駅を起点とした都市基盤を推進し、国道312号と482号の交差点付近を都市拠点と位置付け、居住、商業、芸術文化、娯楽、交流など、多くの人が集まる本市の拠点にふさわしい都市機能の集積を図ります。

地域拠点

市内各地においては、行政施設を核とした一定の都市を形成しているため、その「地域の顔」となる市街地機能を継承しつつ、地域資源を活かしたまちづくりを進めるとともに、日常生活に必要な諸機能を集積し、地域拠点としての活性化を図ります。



3 課題(市計画等)

○京丹後市都市計画マスタープラン

【都市拠点の形成に係る課題】

- ・商業系用途地域等の活用による土地利用の転換（無秩序な機能拡散と地域環境の悪化の防止）
- ・駅を起点とした都市基盤整備の推進
- ・商業・交流機能の発展を図り新都市拠点にふさわしい都市機能の誘導

【軸の形成（公共交通）に係る課題】

- ・公共交通の利便性向上につながる取り組みを進める
- ・歩いて暮らせるまちづくりの推進
- ・居住地を問わず都市機能の集積効果の恩恵が受けられる交通体系の構築
- ・駅の機能の充実

○関係する審議会等

◆京丹後市図書館協議会

- ・老朽化・手狭な峰山図書館・大宮図書室・弥栄図書室をまちづくり・ひとづくりに貢献できる図書館として統合整備（峰山町・大宮町にかかる商業地域周辺）
- ・複合施設としての整備が望ましい

◆京丹後市子ども未来まちづくり審議会

- ・天候等に影響を受けずに子ども同士の交流や相談等に対応する子育て支援拠点の整備（市の中心地）

◆京丹後市文化芸術振興審議会（京丹後市文化芸術振興計画）

- ・丹後文化会館等文化ホール機能の今後のあり方検討
- ・市中央図書館（仮称）の整備を検討

○京丹後市 SDGs未来都市計画

- ・地域公共交通の維持・充実
新たなモビリティの動向にも注視し、存続可能な地域公共交通の確保をまちづくりと一体的に進めて行くことが重要

4 都市拠点等の在り方検討の対象エリア

大まかな対象エリア



5 中間報告とりまとめ内容(公共施設関係)

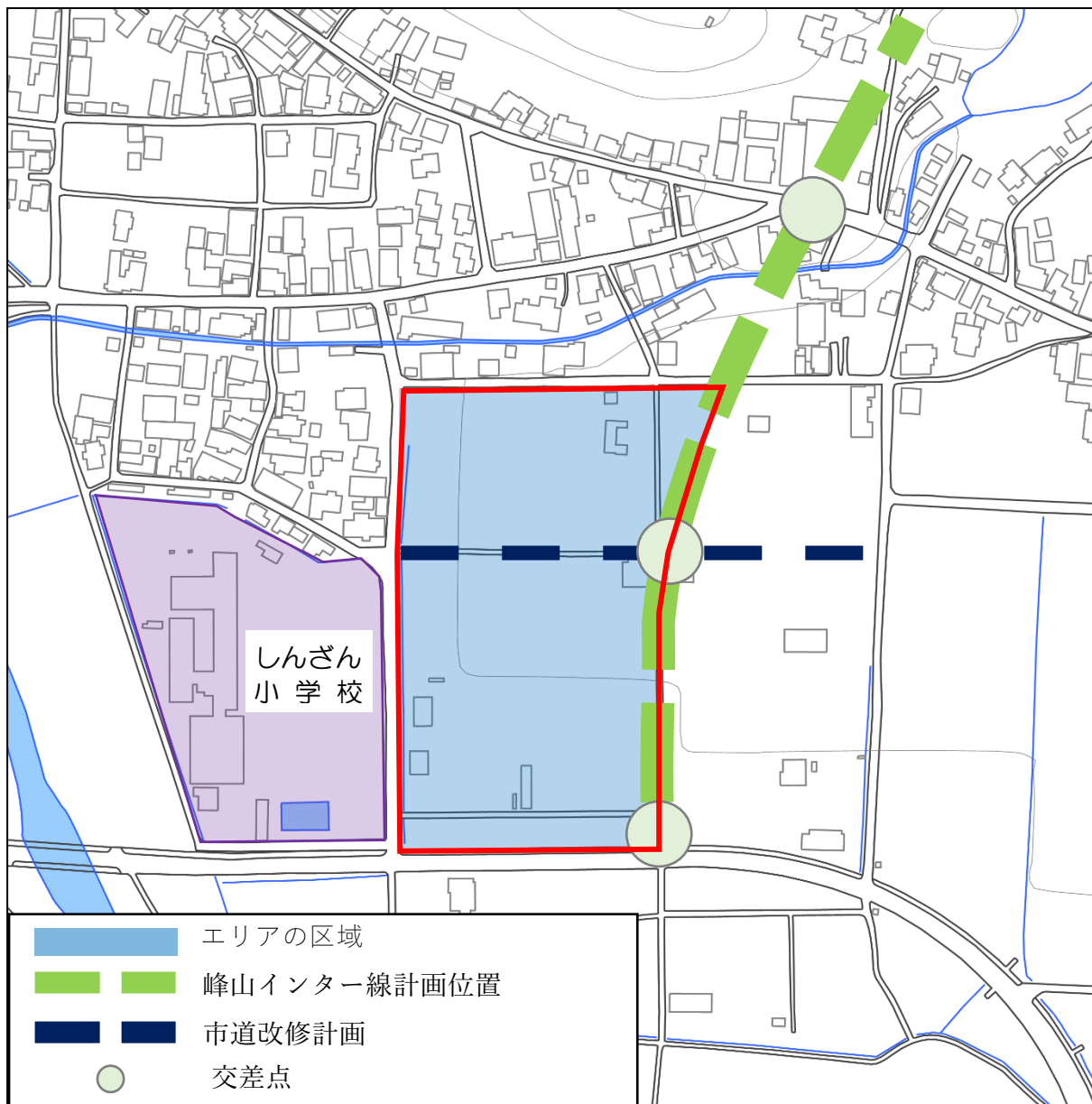
しんざん小学校隣接エリアの公共施設整備の構想（令和４年度意見等による内容更新）

(1)エリア構想の目標

- ・子育て支援、教育・文化や芸術活動などの拠点整備を通じた良好なしんざん小学校の周辺教育環境等の形成を図る。

(2)エリアの区域

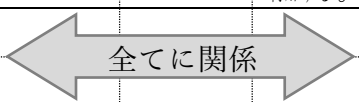
- ・しんざん小学校の隣接エリアで、国道４８２号、峰山インター線、市道により囲まれた区域を設定し、このエリア内で施設敷地を特定していく。
- ・施設整備にあたり住宅等の既存建物や地域振興に極力影響ない場所を敷地特定していく。



(3)公共施設等の整備方針

- ・公共施設等は、市を支え、市を訪れ、活動する京丹後の未来を担う「未来人材」づくりの場として多世代の活動拠点となるよう、ICT を活用したインクルーシブな複合施設としての整備を目指す。
- ・子育て支援施設、図書館施設、文化芸術活動施設を核として公共施設等とする。
- ・敷地面積や建物規模等により整備する機能の優先度を勘案して機能を選択するほか、留意事項を勘案して具体の整備検討を行う。

ア 整備する機能

分野	機能	優先度		
		高	低	
		核となるもの	関連するもの	可能であれば付加するもの
全体	インクルーシブ			
	I C T			
子育て	子育て支援施設	●		
	屋内型子ども広場	○		
	子育ての相談室や行政窓口	○		
	子育て支援団体活動スペース			○
教育 生涯学習	図書館施設	●		
	蔵書貸出	○		
	読み聞かせ室		○	
	自習室		○	
	視聴覚室		○	
	文化・芸術活動施設	●		
	市民ホール	○		
	演劇・ダンス・音楽活動		○	
	スタジオ		○	
	キッチン		○	
福祉	総合相談窓口受付			○
その他	基本的な証明等の発行窓口			○
共通	ロビー等のフリースペース（打合可）		○	
	会議室		○	
	室外休息広場		○	
	展示等ギャラリー		○	
	カフェ		○	

イ 整備にあたっての留意事項

【全体に関すること】

- ・「幸福」を中心軸に未来への活力を創造する考えで施設を検討すること
- ・未来人材の活動の拠点となる施設とすること
- ・インクルーシブな施設とすること
- ・ＩＣＴ等先端の技術に触れられる施設とすること
- ・スマートコミュニティの形成に資する施設とすること
- ・京丹後市のランドマークとして存在感（デザイン）のある施設とすること

【利用者への配慮に関すること】

- ・生活弱者に配慮した施設とすること
- ・障がい者等が利用や活動のしやすい施設とすること
- ・子育て中の親がリラックスできる施設とすること
- ・休憩がてら長時間過ごせる施設とすること
- ・市民が集いやすい施設とすること

【機能等に関すること】

- ・市民活動の発信の場となる施設とすること
- ・若者を呼び込める施設とすること
- ・色々な知に触れられる施設とすること
- ・セミナーやコンベンションに対応可能な施設とすること
- ・利用者に必要な駐車場を確保すること
- ・公園等の要素を取り入れること
- ・多世代間・分野間の交流、市民による運営など市民が関係する施設とすること

【エリアに関すること】

- ・地元地区の意見・意向を踏まえて検討すること